

2024年度

# 県内景況・確報

◎概況 **県内景況は、拡大基調にある。**

●2024年度 おきぎん「カトレア」景況図●

## 県内景況



やや良い

### 個人消費



やや良い

### 建設関連



ふつう

### 観光関連



やや良い

### 企業倒産



やや良い

### 雇用状況



やや良い

**2024年度の県内景況**は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに3年連続で前年度を上回りました。百貨店売上高は、3年連続で前年度を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、3年連続で前年度を上回りました。中古車販売台数は2年連続で前年度を上回りました。

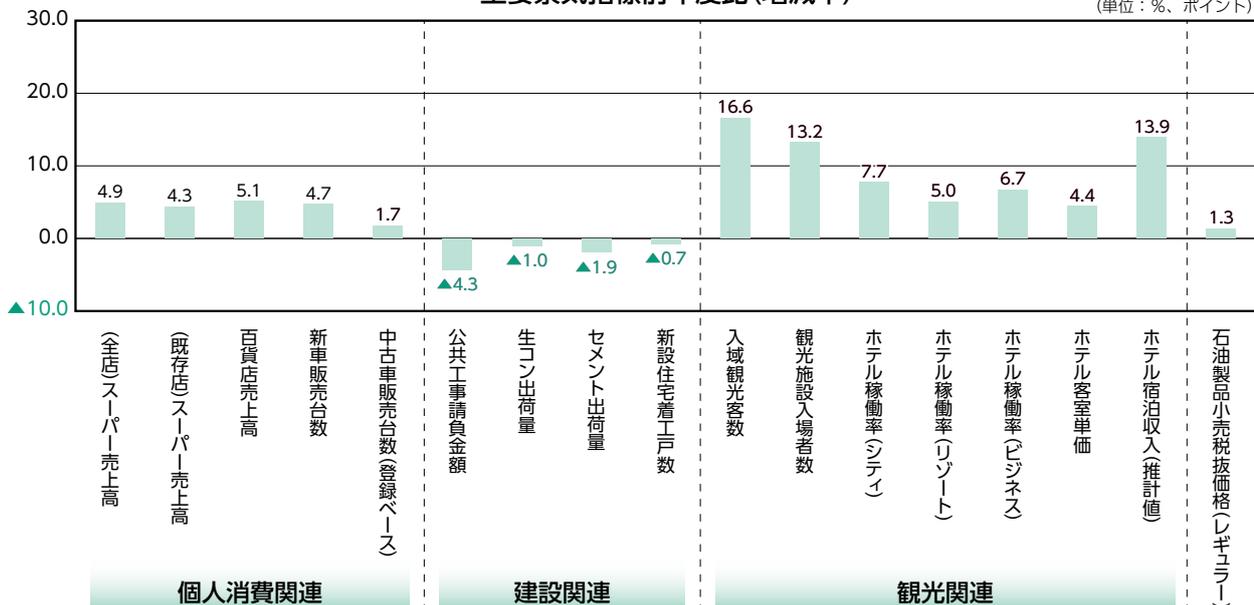
**建設関連**では、公共工事請負金額は前年度を下回りました。新設住宅着工戸数は前年度を下回り、建設資材である生コン・セメントにおいてもともに前年度を下回りました。

**観光関連**では、入域観光客数は4年連続で前年度を上回り、観光施設入場者数も4年連続で前年度を上回りました。ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスの全てで前年度を上回りました。ホテル客室単価は4年連続で前年度を上回り、宿泊収入（推計値）も4年連続で上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は物価上昇の影響を受けながらも増加しており、観光関連は拡大基調にあります。建設関連は弱含んでいます。総じて「**県内景況は、拡大基調にある**」と景気判断をしました。

主要景気指標前年度比(増減率)

(単位：％、ポイント)





# 個人消費



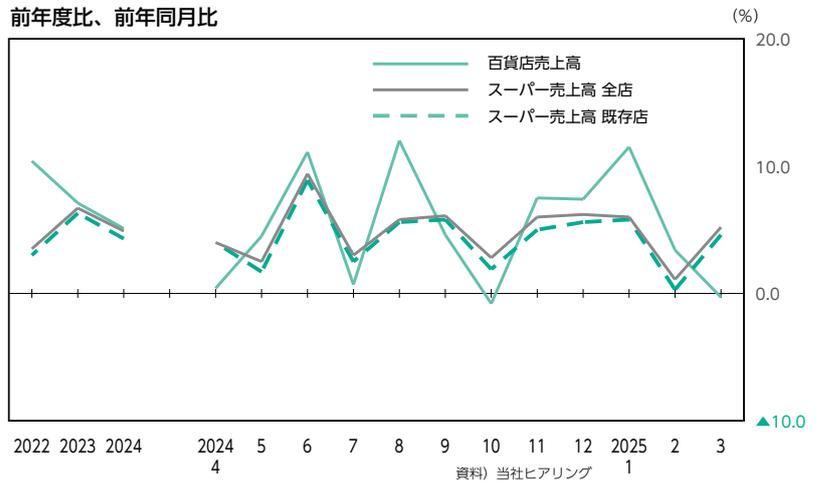
(やや良い)

## ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年度を上回る。百貨店売上高は前年度を上回る。

**2024年度の個人消費関連**は、スーパー売上高「**全店ベース（前年比4.9%増）**」は、物価高騰に伴う単価の上昇や店舗数の増加などにより前年度を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同4.1%増）」は、物価高騰の影響や店舗数の増加などにより前年度を上回りました。「家庭用品（同9.1%増）」は店舗数の増加などにより前年度を上回りました。「衣料品（同6.6%増）」は前年度を上回りました。

「**既存店ベース（同4.3%増）**」は、前年度を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同3.7%増）」は、物価高騰による単価の上昇などにより前年度を上回りました。「衣料品（同7.0%増）」、「家庭用品（同6.7%増）」はともに前年同月を上回りました。

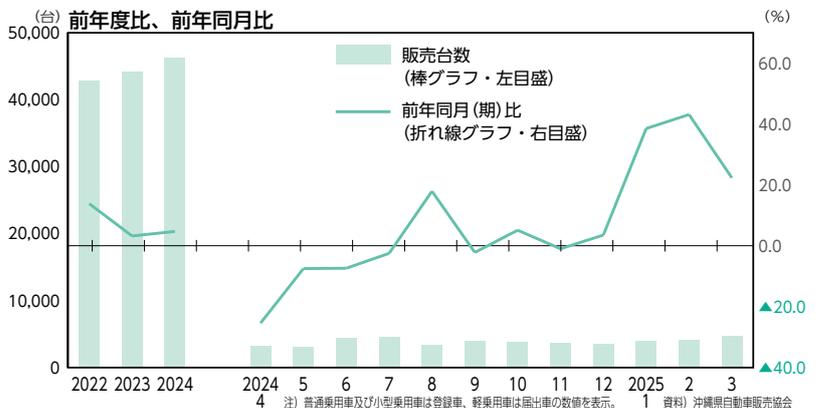
**百貨店売上高**は、訪日客（インバウンド）の増加に伴う免税売上げの好調などにより前年度を上回りました（同5.1%増）。内訳をみると、ウェイトの高い「食料品（同5.4%増）」は、物価高騰の影響や催事企画の好調などにより前年度を上回りました。「衣料品（同1.4%増）」は前年度を上回りました。「雑貨（同9.8%増）」は、インバウンドの増加などにより前年同月を上回りました。



## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年度を上回る。

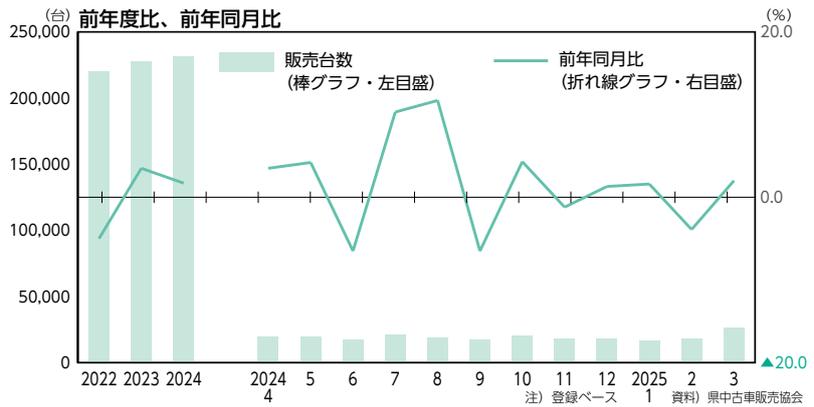
**新車販売台数**は、一部メーカーの出荷停止の反動やレンタカー需要の増加などにより、全体で46,222台（同4.7%増）と、前年度を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同5.0%増）」、「小型乗用車（同9.4%増）」、「軽乗用車（同1.1%増）」とともに前年度を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



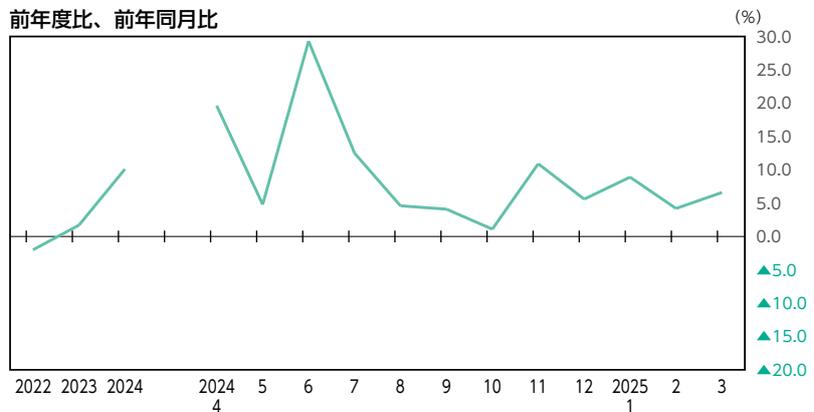
### ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年度を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で231,668台（同1.7%増）となり、前年度を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同4.1%増）」は、前年度を上回りました。「軽乗用車（同0.0%）」は、前年度と同水準となりました。



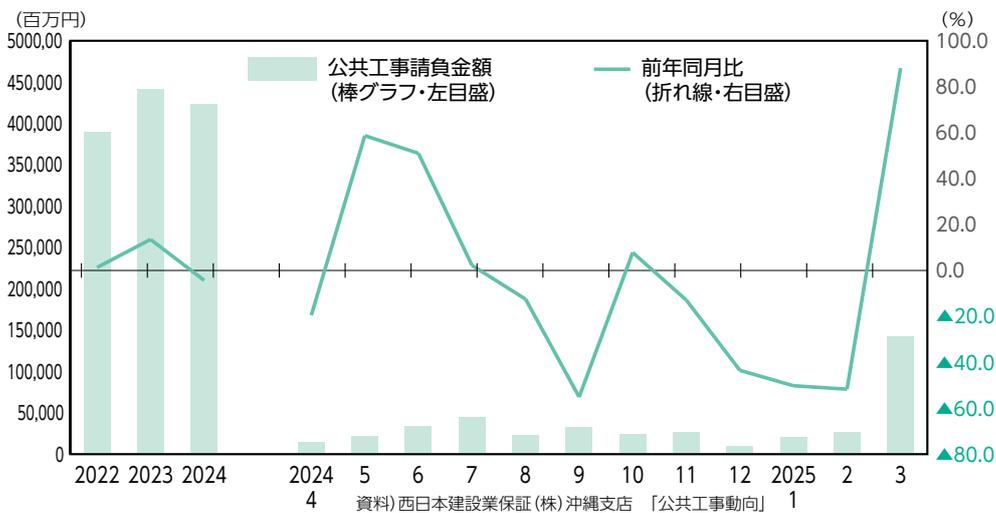
### ④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年度を上回る。

2024年度の大型家電専門店販売額は前年度を上回りました。



## 建設関連 (ふつう)

### ① 公共工事…公共工事請負金額は前年度を下回る。

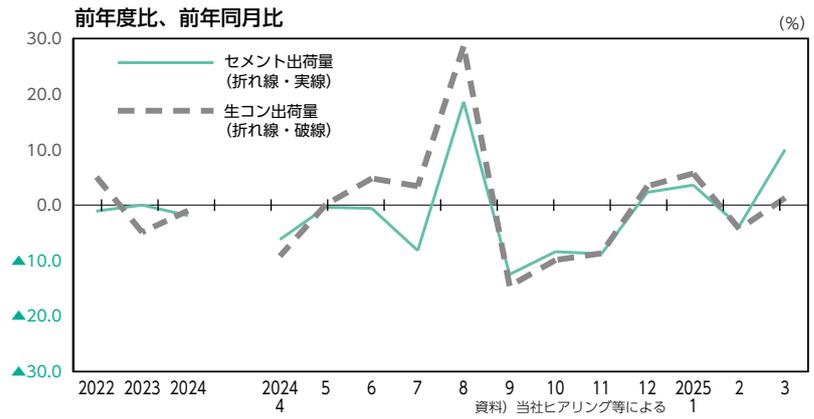


2023年度の公共工事請負金額は、前年度比4.3%減の4,229億8,400万円となりました。発注者別で見ると、「沖縄県(同5.9%増)」、「その他の公共的団体(同29.6%増)」は前年度を上回りました。一方、「国(同3.6%減)」、「市町村(同12.2%減)」、「独立行政法人等(同35.4%減)」は前年度を下回りました。



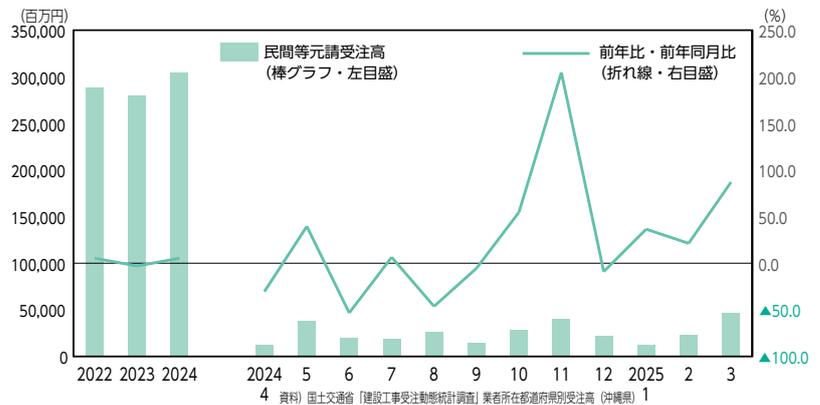
## ② 建設資材…生コン・セメントともに前年度を下回る。

2024年度の**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は1.0%減と前年度を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は前年度より1.4%減、民間工事向け出荷は0.7%減となり、ともに前年度を下回りました。**セメント**出荷量は1.9%減と前年度を下回りました。



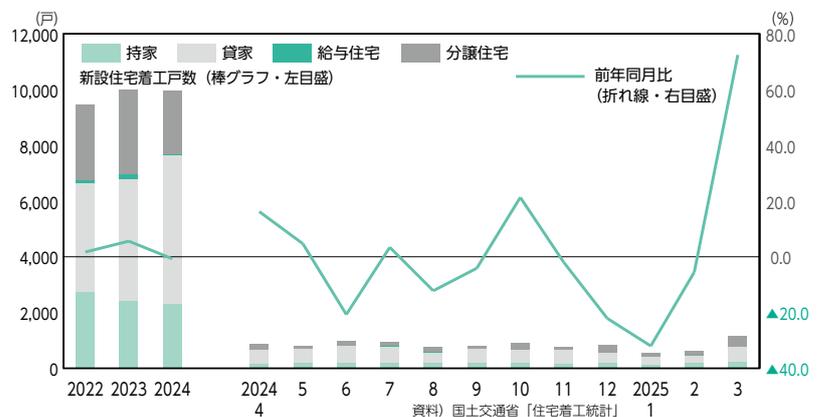
## ③ 【参考】民間等元請受注…民間等からの元請受注高は前年度を上回る。

2024年度の**民間等からの元請受注高**は前年度を5.3%上回りました。



## ④ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年度を下回る。

2024年度の**新設住宅着工戸数**は、全体で9,939戸となり0.7%減と前年度を下回りました。利用別戸数をみると、「貸家 (同22.2%増)」は前年度を上回りました。一方、「持家 (同4.9%減)」、「分譲住宅 (同26.2%減)」、「給与住宅 (同74.2%減)」は前年度を下回りました。

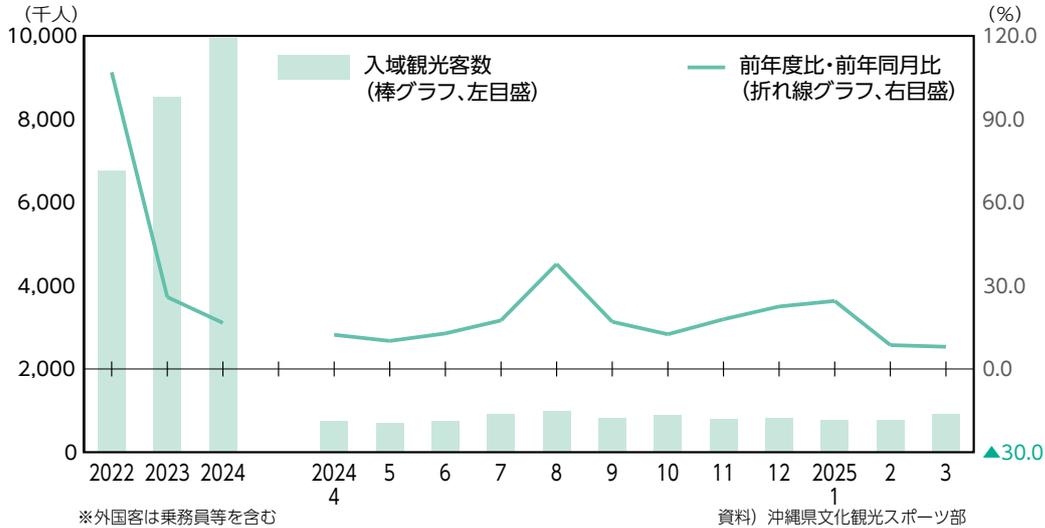


観光関連

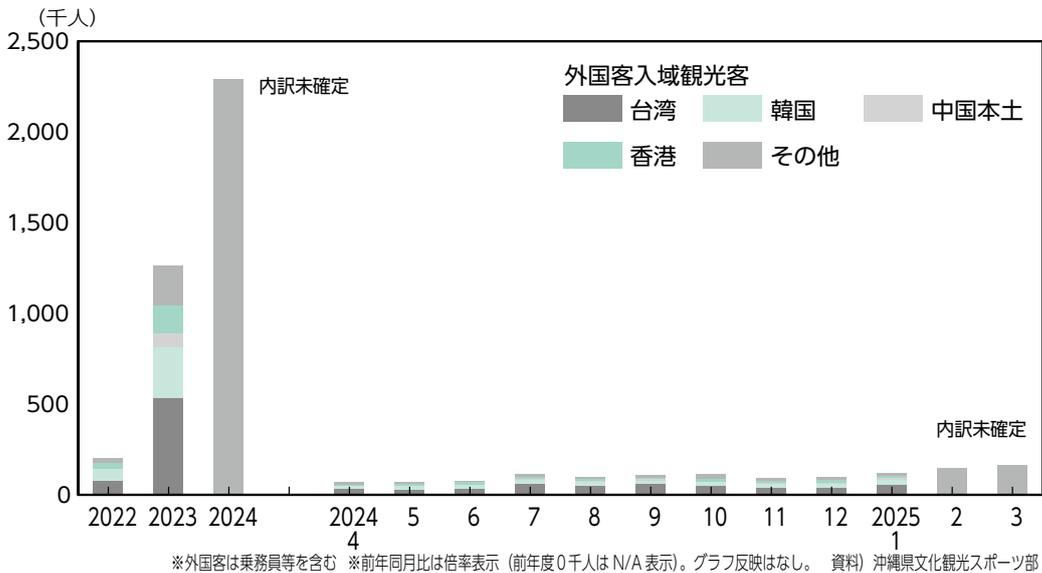


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年度を上回る。



外国客 入域観光客数…前年度を上回る。

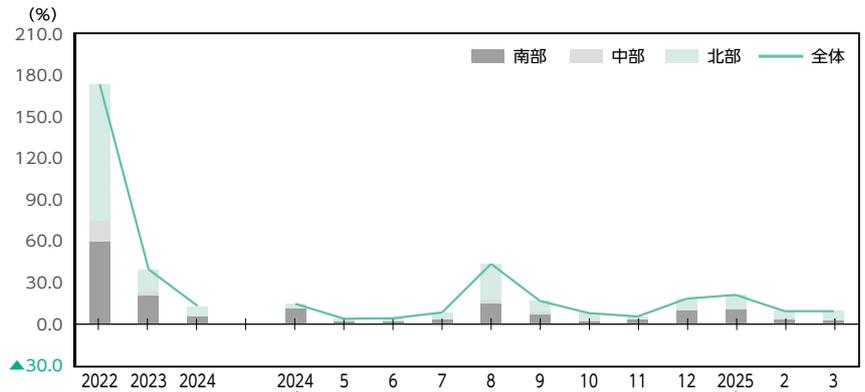


2024年度の**入域観光客数**は、9,952.4千人(前年度比16.6%増)となり、前年度を上回りました。内訳をみると国内客は全国旅行支援の実施などから7,660.2万人(同5.4%増)と、過去最多となりました。外国客は台湾や韓国などの航空路線の回復や、クルーズ船の再開・新規就航により2,292.2千人となりました(1.8倍)。



## ② 観光施設入場者数…前年度を上回る。

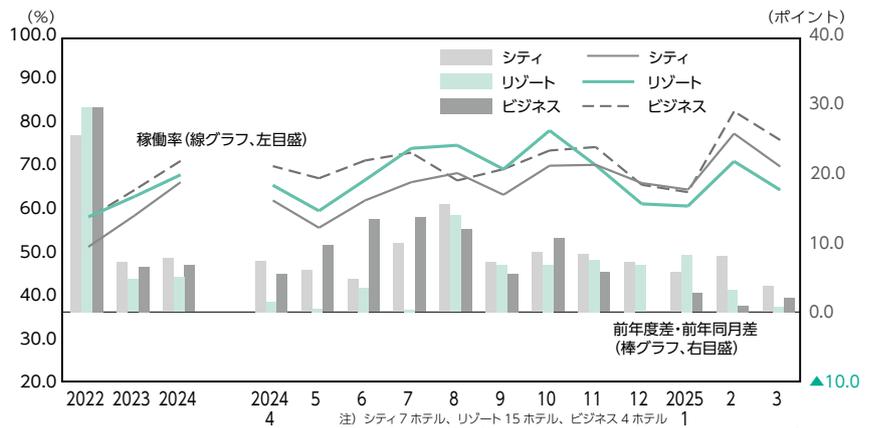
観光施設入場者数は、全体では前年度比13.2%増加となりました。地域別では、北部にある観光施設が同13.8%増、南部が同14.3%増、中部が同4.6%増となりました。



※調査対象施設数=南部 6、中部 5、北部 4 施設 ※グラフは全体の寄与度を表示。※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。 ※棒グラフは各地域の寄与度を示している 資料) 当社ヒアリング

## ③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルの全てで前年度を上回る。

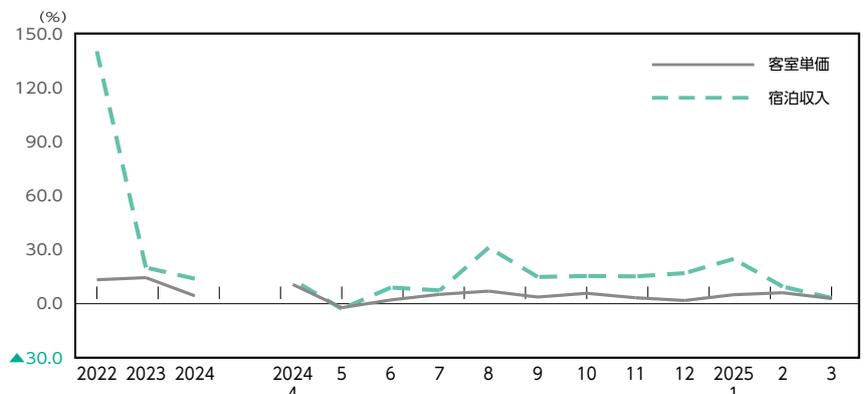
2024年度の県内ホテル稼働率は、シティホテルが65.9%と前年度差7.7ポイント増加、リゾートホテルが67.6%と同5.0ポイント増加、ビジネスホテルが70.8%と同6.7ポイント増加しました。



注) シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル 1 ※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。 資料) 当社ヒアリング

## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年度を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート) は前年度比4.4%増と前年度を上回り、宿泊収入も同13.9%増と前年度を上回りました。客室単価は需要回復や、物価上昇分の価格転嫁などにより上昇しています。



※対象施設数: 22施設 (シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く ※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計) ※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする 資料) 当社ヒアリング



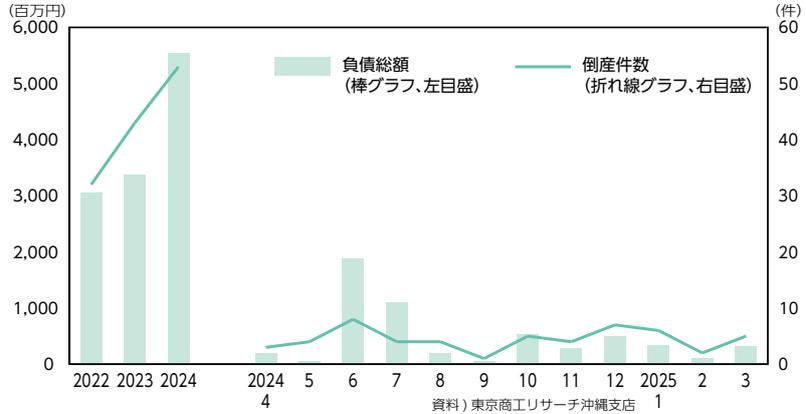
企業倒産



(やや良い)

① 企業倒産…件数、負債総額ともに前年度を上回る。

2024年度の**企業倒産件数**は、53件（うち大口倒産（負債総額1億円以上10億円未満）は14件）となり、前年度より16.6%上回りました。**負債総額**は55億4,300万円となり、前年度より63.9%上回りました。



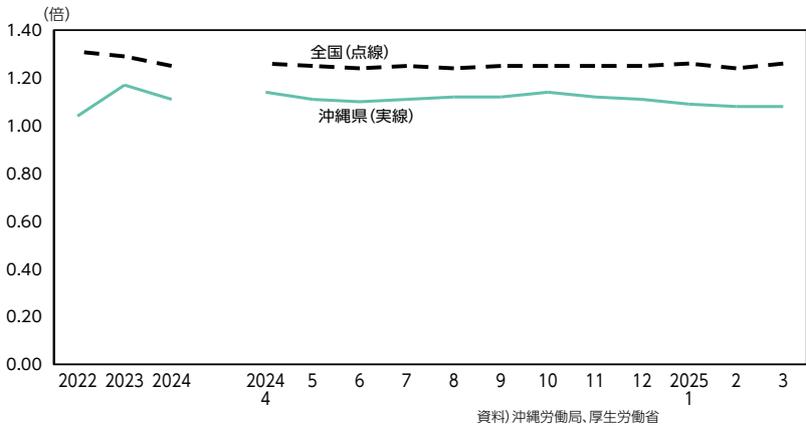
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄・全国ともに前年度より低下。

2024年度の**雇用状況**は、月間有効求人数（年度平均）は前年度比5.0%減の31,850人に対して、月間有効求職者数（同上）は前年度比0.1%減の28,714人となり、**有効求人倍率（同上）**は1.11倍と、前年度より0.06ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄、全国はともに前年度より低下。

2024年度の**完全失業率（年度平均）**は、3.0%となり前年度より0.2ポイントを低下しました。

